

**教育・保育及び地域子ども・子育て
支援事業の量の見込みについて**

平成26年6月5日

四日市市子ども未来部子ども未来課

1. 量の見込みの具体的な算出手順

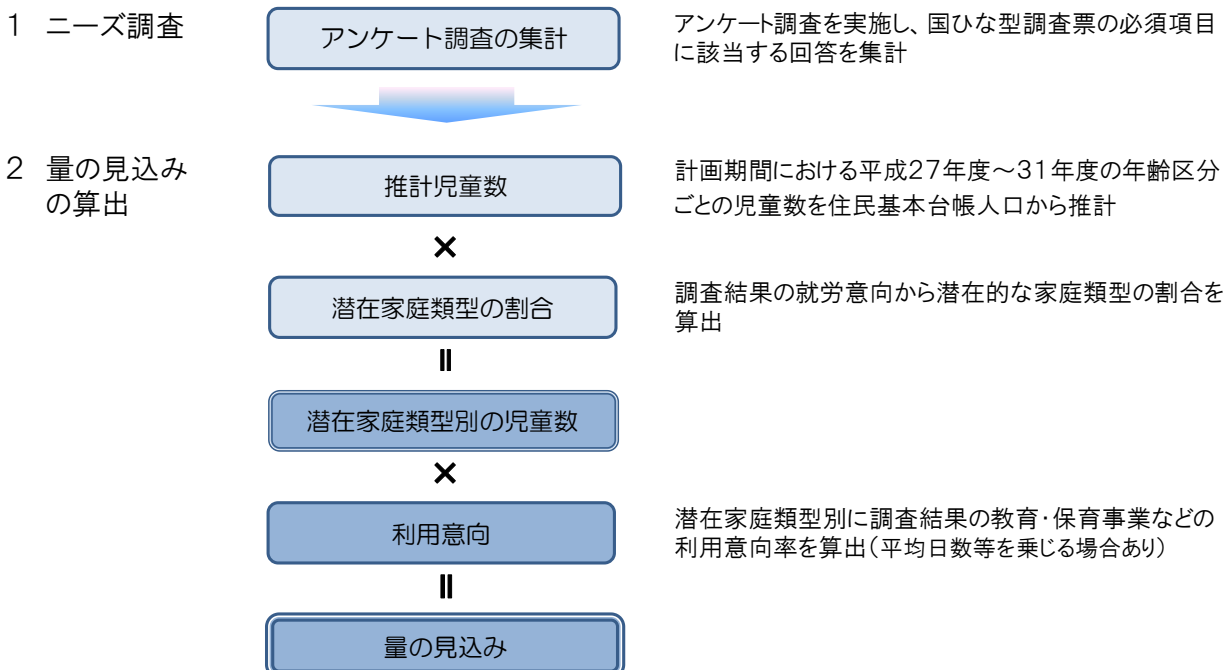
量の見込みの算出は、国が提示した「量の見込みの算出等のための手引き」に準じ、全国で共通の項目について算出を行います。

ただし、国の手引きに準じて、ニーズ調査をもとに全国一律に算出することから、実態と乖離する場合があります。そのため、量の見込みの設定は、利用実態や確保方策と合わせて、さらに検討していく必要があります。

(1) 算出する項目

区分	対象事業	
教育・保育	1号認定区分	幼稚園 / 認定こども園
	2号認定区分	幼稚園 * 共働きであるが幼稚園を利用
		保育園 / 認定こども園
3号認定区分	保育園 / 地域型保育 / 認定こども園	
地域子ども・子育て支援事業	時間外保育事業(延長保育事業)	
	放課後児童健全育成事業(学童保育所)	
	子育て短期支援事業(ショートステイ)	
	地域子育て支援拠点事業	
	一時預かり事業	
	病児・病後児保育事業	
	子育て援助活動支援事業	
	利用者支援事業	
	妊婦健康診査	
	乳幼児家庭全戸訪問事業	
	養育支援訪問事業	

(2) 算出手順



(3) 推計児童数と潜在家庭類型の算出プロセス

Step1

計画期間における児童数を推計する

1. 計画期間中における(平成27年度～31年度)における0歳から11歳までの児童数を推計する。
2. 推計にあたっては、平成21年～平成25年までの各年4月1日の住民基本台帳人口をもとに、コーホート変化率法により行う。

* コーホート変化率法とは、各コーホート(同じ期間に生まれた人々の集団をさす)について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

今回のように推計するものが比較的近い将来の人口であり、変化率の算出基礎となる近い過去に特殊な人口変動がなく、また推計対象となる近い将来にも特殊な人口変動が予想されない場合は、比較的簡便なこの方法を用いることができる。



年度 年齢	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
0歳	2,825	2,779	2,828	2,735	2,768	2,724	2,702	2,671	2,644	2,629	2,597	
1歳	2,821	2,843	2,812	2,880	2,756	2,799	2,755	2,733	2,702	2,674	2,658	
2歳	2,981	2,803	2,824	2,773	2,828	2,725	2,767	2,724	2,703	2,672	2,644	
3歳	2,771	2,984	2,802	2,798	2,753	2,817	2,715	2,757	2,714	2,693	2,662	
4歳	2,907	2,781	2,974	2,766	2,795	2,743	2,807	2,706	2,747	2,705	2,684	
5歳	3,006	2,910	2,793	2,982	2,766	2,800	2,749	2,814	2,712	2,753	2,711	
小計	17,311	17,100	17,033	16,934	16,666	16,608	16,495	16,405	16,222	16,126	15,956	
6歳	3,147	3,003	2,897	2,761	2,955	2,748	2,782	2,731	2,796	2,694	2,735	
7歳	3,158	3,155	2,983	2,895	2,735	2,945	2,738	2,772	2,721	2,786	2,684	
8歳	3,169	3,155	3,162	2,976	2,897	2,735	2,945	2,738	2,772	2,721	2,786	
9歳	3,096	3,158	3,145	3,150	2,956	2,884	2,723	2,932	2,726	2,760	2,709	
10歳	3,225	3,100	3,158	3,136	3,146	2,953	2,881	2,721	2,929	2,724	2,758	
11歳	3,268	3,214	3,087	3,166	3,121	3,139	2,946	2,874	2,714	2,922	2,717	
小計	19,063	18,785	18,432	18,084	17,810	17,404	17,015	16,768	16,658	16,607	16,389	
総計	36,374	35,885	35,465	35,018	34,476	34,012	33,510	33,173	32,880	32,733	32,345	
					H25年度比		98.7%	97.2%	96.2%	95.4%	94.9%	93.8%

Step2

潜在家庭類型を算出する

- アンケート調査結果を活用し、まず、対象となる子どもの父母の有無、就労状況から「家庭類型」を求める。家庭類型の種類の種類は、次のタイプ A からタイプ F の8種類となっている。

家庭類型の種類

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間：月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満+下限時間～120時間の一部)
タイプD	いずれかが専業主婦（夫）
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月120時間以上+下限時間～120時間の一部)
タイプE'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満+下限時間～120時間の一部)
タイプF	無業×無業

※各自治体における保育の必要性の下限時間(四日市市は、現在、保育年齢により、0・1歳が120時間、2歳が80時間、3歳が64時間、4・5歳が時間設定なし)を「下限時間」と記載。

量の見込み(暫定値)は下限時間を仮に48時間で算出

タイプBからタイプFの設定

※タイプAについては、母子家庭又は父子家庭の割合を算出して設定する。

※太線内のタイプC'・E'・D・Fは、専業主婦家庭あるいは父母の就労時間の短い家庭(「就労時間短家庭」として、「教育標準時間(認定こども園及び幼稚園)」に分類される。

		母親		父親	
		1.フルタイム就労 2.育児・介護休業中	3.パートタイム就労 4.育児・介護休業中	120時間以上	120時間未満 下限時間以上
1.フルタイム就労 2.育児・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD
	120時間以上	タイプC	タイプE	タイプE'	
	120時間未満 下限時間以上	タイプC'			
3.パートタイム就労 4.育児・介護休業中	下限時間未満				
5.現在は就労していない 6.就労したことがない		タイプD			タイプF

就労意向から「潜在家庭類型」を算出

母親で、現在パートタイムの母親が、フルタイムへの転換希望があるのか、無業の人がフルタイム又はパートタイムで就労する希望があるのかの意向によって、近い将来の「潜在的な家庭類型」を算出する。



区 分		0歳～就学前	0歳	1・2歳	3歳～就学前	小学生
		割合	割合	割合	割合	割合
タイプA	ひとり親	5.1%	3.3%	3.6%	7.2%	6.8%
タイプB	フルタイム×フルタイム	24.8%	26.8%	28.3%	21.5%	18.3%
タイプC	フルタイム×パートタイム (月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	18.2%	12.3%	15.8%	23.0%	48.6%
タイプC'	フルタイム×パートタイム (下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	8.7%	5.1%	7.7%	11.4%	2.6%
タイプD	専業主婦(夫)	42.9%	51.6%	44.7%	36.8%	23.3%
タイプE	パート×パート (双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%
タイプE'	パート×パート (いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
タイプF	無業×無業	0.2%	0.7%	0.0%	0.1%	0.0%

第3回会議資料より再掲

(3) 国の基本指針(案) 抜粋②

計画に記載する「量の見込み」と「確保の内容」の記載イメージ

◇ 教育・保育施設の「量の見込み」に対応する「確保の内容」、「実施時期」

〇〇〇区域	1年目			2年目			3年目		
	満3歳以上 教育標準 時間認定 (1号)	満3歳以上 保育認定 (2号)	満3歳未満 保育認定 (3号)	満3歳以上 教育標準 時間認定 (1号)	満3歳以上 保育認定 (2号)	満3歳未満 保育認定 (3号)	満3歳以上 教育標準 時間認定 (1号)	満3歳以上 保育認定 (2号)	満3歳未満 保育認定 (3号)
①量の見込み(必要利用定員総数)	300人	200人	200人	300人	200人	200人	300人	200人	200人
②確保の内容 (認定こども園、幼稚園、保育園 教育・保育施設)	300人	200人	80人	300人	200人	150人	300人	200人	150人
	地域型保育事業	0人	0人	20人	0人	0人	30人	0人	0人
②-①	0人	0人	▲100人	0人	0人	▲20人	0人	0人	0人

5年目まで記載

◇ 「量の見込み」に対応する事業ごとに地域子ども・子育て支援事業の「確保の内容」、「実施時期」

地域子ども・子育て支援拠点事業	1年目	2年目	3年目
①量の見込み	3000人(10か所)	3000人(10か所)	3000人(10か所)
②確保の内容	3000人(10か所)	3000人(10か所)	3000人(10か所)
②-①	0人	0人	0人

5年目まで記載

2-1. 量の見込みの算出結果（教育・保育事業）

認定区分	1号認定																																																	
対象年齢	3～5歳児																																																	
対象施設	幼稚園 / 認定こども園																																																	
家庭類型	タイプC'	フルタイム × パートタイム(短時間)																																																
	タイプD	専業主婦(夫)																																																
	タイプE'	パートタイム × パートタイム *いずれかが短時間																																																
	タイプF	無業 × 無業																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">父親</th> <th rowspan="2">母親</th> <th colspan="2">1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</th> <th colspan="2">3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</th> <th rowspan="2">5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない</th> </tr> <tr> <th>120時間以上</th> <th>120時間未満 下限時間以上</th> <th>120時間未満 下限時間以上</th> <th>下限時間未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</td> <td></td> <td>タイプB</td> <td>タイプC</td> <td>タイプC'</td> <td colspan="2">タイプD</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</td> <td>120時間以上</td> <td>タイプC</td> <td>タイプE</td> <td colspan="2">タイプE'</td> <td>タイプD</td> </tr> <tr> <td>120時間未満 下限時間以上</td> <td>タイプC'</td> <td colspan="2">タイプE'</td> <td colspan="2">タイプD</td> </tr> <tr> <td></td> <td>下限時間未満</td> <td colspan="2">タイプD</td> <td colspan="2">タイプE'</td> <td>タイプF</td> </tr> <tr> <td>5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない</td> <td></td> <td colspan="4">タイプD</td> <td>タイプF</td> </tr> </tbody> </table>					父親	母親	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中		5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない	120時間以上	120時間未満 下限時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE	タイプE'		タイプD	120時間未満 下限時間以上	タイプC'	タイプE'		タイプD			下限時間未満	タイプD		タイプE'		タイプF	5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD			
父親	母親	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中		5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない																																												
		120時間以上	120時間未満 下限時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満																																													
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD																																													
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE	タイプE'		タイプD																																												
	120時間未満 下限時間以上	タイプC'	タイプE'		タイプD																																													
	下限時間未満	タイプD		タイプE'		タイプF																																												
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD				タイプF																																												
算出根拠	<p>国の「手引き」に基づき算出</p> <p>【利用意向】</p> <p>問 17 における教育・保育事業の今後の利用意向で、「幼稚園」「認定こども園」のいずれかを選択した方の割合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $\text{量の見込み(人)} = \text{家庭類型別児童数(人)} \times \text{利用意向率(\%)}$ </div>																																																	
量の見込み (暫定値)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3～5歳推計児童数</td> <td>人</td> <td>8,271</td> <td>8,277</td> <td>8,173</td> <td>8,151</td> <td>8,057</td> </tr> <tr> <td>量の見込み (2号認定幼稚園含む)</td> <td>人</td> <td>3,734 (5,049)</td> <td>3,737 (5,053)</td> <td>3,690 (4,989)</td> <td>3,680 (4,976)</td> <td>3,638 (4,919)</td> </tr> <tr> <td>量の見込み／推計児童数 (2号認定幼稚園含む)</td> <td>%</td> <td colspan="5">45.2% (61.1%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】6P の2号認定(幼稚園)利用者に該当する H24・25 年度実績を含む H24 実績 4,597 人 H25 実績 4,451 人</p>						年度		H27	H28	H29	H30	H31	3～5歳推計児童数	人	8,271	8,277	8,173	8,151	8,057	量の見込み (2号認定幼稚園含む)	人	3,734 (5,049)	3,737 (5,053)	3,690 (4,989)	3,680 (4,976)	3,638 (4,919)	量の見込み／推計児童数 (2号認定幼稚園含む)	%	45.2% (61.1%)																				
年度		H27	H28	H29	H30	H31																																												
3～5歳推計児童数	人	8,271	8,277	8,173	8,151	8,057																																												
量の見込み (2号認定幼稚園含む)	人	3,734 (5,049)	3,737 (5,053)	3,690 (4,989)	3,680 (4,976)	3,638 (4,919)																																												
量の見込み／推計児童数 (2号認定幼稚園含む)	%	45.2% (61.1%)																																																

認定区分	2号認定																																																										
対象年齢	3～5歳児																																																										
対象施設	幼稚園 ＊共働きであるが幼稚園を利用																																																										
家庭類型	タイプA	ひとり親家庭																																																									
	タイプB	フルタイム × フルタイム																																																									
	タイプC	フルタイム × パートタイム(長時間)																																																									
	タイプE	パートタイム(長時間) × パートタイム(長時間)																																																									
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">母親</td> <td colspan="2">父親</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</td> <td>3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</td> <td colspan="2">5. 現在は就労していない 6. 就労していない</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>120時間以上</td> <td>120時間未満 下限時間以上</td> <td>下限時間未満</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</td> <td>タイプB</td> <td>タイプC</td> <td>タイプC'</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>120時間以上</td> <td>タイプC</td> <td>タイプE</td> <td>タイプD</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</td> <td>120時間未満 下限時間以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>タイプC'</td> <td>タイプE'</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>下限時間未満</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>5. 現在は就労していない 6. 就労していない</td> <td colspan="2">タイプD</td> <td>タイプF</td> </tr> </table>							母親		父親				1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	5. 現在は就労していない 6. 就労していない					120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満			1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	タイプB	タイプC	タイプC'			120時間以上	タイプC	タイプE	タイプD			3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間未満 下限時間以上						タイプC'	タイプE'				下限時間未満						5. 現在は就労していない 6. 就労していない	タイプD	
		母親		父親																																																							
		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	5. 現在は就労していない 6. 就労していない																																																							
			120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満																																																						
		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	タイプB	タイプC	タイプC'																																																						
		120時間以上	タイプC	タイプE	タイプD																																																						
		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間未満 下限時間以上																																																								
			タイプC'	タイプE'																																																							
		下限時間未満																																																									
		5. 現在は就労していない 6. 就労していない	タイプD		タイプF																																																						
算出根拠	国の「手引き」に基づき算出 【利用意向】 問 17 における教育・保育事業の今後の利用意向で、「幼稚園」を選択した方の割合 $\text{量の見込み(人)} = \text{家庭類型別児童数(人)} \times \text{利用意向率(\%)}$																																																										
量の見込み (暫定値)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3～5歳推計児童数</td> <td>人</td> <td>8,271</td> <td>8,277</td> <td>8,173</td> <td>8,151</td> <td>8,057</td> </tr> <tr> <td>量の見込み</td> <td>人</td> <td>1,315</td> <td>1,316</td> <td>1,299</td> <td>1,296</td> <td>1,281</td> </tr> <tr> <td>量の見込み／推計児童数</td> <td>%</td> <td colspan="5">15.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 現在の制度の中では1号若しくは2号の区分がないため、該当する対象児の実績人数は5Pの【参考】実績に含まれている。</p> <p>【備考】 手引きに基づく算出では、両親がフルタイム等で、かつ今後の利用希望で幼稚園を選択すると2号認定として算出されるが、新制度において、両親の就労状況にかかわらず、保育園を併願せずに幼稚園を希望して利用申請した場合には1号認定に該当すると考えられるため、他の設問によって幼稚園の利用希望が強いと考えられる利用意向は、1号認定に加えるなどの補正が必要である。</p>						年度	H27	H28	H29	H30	H31	3～5歳推計児童数	人	8,271	8,277	8,173	8,151	8,057	量の見込み	人	1,315	1,316	1,299	1,296	1,281	量の見込み／推計児童数	%	15.9%																														
年度	H27	H28	H29	H30	H31																																																						
3～5歳推計児童数	人	8,271	8,277	8,173	8,151	8,057																																																					
量の見込み	人	1,315	1,316	1,299	1,296	1,281																																																					
量の見込み／推計児童数	%	15.9%																																																									

認定区分	2号認定																																												
対象年齢	3～5歳児																																												
対象施設	保育園 / 認定こども園																																												
家庭類型	タイプA	ひとり親家庭																																											
	タイプB	フルタイム × フルタイム																																											
	タイプC	フルタイム × パートタイム(長時間)																																											
	タイプE	パートタイム(長時間) × パートタイム(長時間)																																											
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">母親</td> <td colspan="2">父親</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</td> <td>3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</td> <td colspan="2">5. 現在は就労していない 6. 就労していない</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>120時間以上</td> <td>120時間未満 下限時間以上</td> <td>下限時間未満</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</td> <td>タイプB</td> <td>タイプC</td> <td>タイプC'</td> <td rowspan="3">タイプD</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</td> <td>タイプC</td> <td>タイプE</td> <td>タイプE'</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>タイプC'</td> <td>タイプE'</td> <td>タイプD</td> </tr> <tr> <td colspan="2">5. 現在は就労していない 6. 就労していない</td> <td colspan="3">タイプD</td> <td>タイプF</td> </tr> </table>							母親		父親				1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	5. 現在は就労していない 6. 就労していない					120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中		タイプC	タイプE	タイプE'			タイプC'	タイプE'	タイプD	5. 現在は就労していない 6. 就労していない		タイプD		
		母親		父親																																									
		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	5. 現在は就労していない 6. 就労していない																																									
			120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満																																								
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD																																								
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中		タイプC	タイプE	タイプE'																																									
		タイプC'	タイプE'	タイプD																																									
5. 現在は就労していない 6. 就労していない		タイプD			タイプF																																								
算出根拠	<p>国の「手引き」に基づき算出</p> <p>【利用意向】</p> <p>問17における教育・保育事業の今後の利用意向で、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「保育園」「小規模保育」「認定こども園」「事業所内保育」「その他の保育施設」「家庭的保育」「居宅訪問型保育」のいずれかを選択した方の割合から、「幼稚園」を選択した方の割合を除いた割合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>量の見込み(人) = 家庭類型別児童数(人) × 利用意向率(%)</p> </div>																																												
量の見込み(暫定値)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3～5歳推計児童数</td> <td>人 8,271</td> <td>8,277</td> <td>8,173</td> <td>8,151</td> <td>8,057</td> </tr> <tr> <td>量の見込み</td> <td>人 2,959</td> <td>2,961</td> <td>2,924</td> <td>2,916</td> <td>2,882</td> </tr> <tr> <td>量の見込み／推計児童数</td> <td colspan="5">% 35.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 H24 実績 3,158 人 H25 実績 3,118 人</p> <p>【備考】</p> <p>手引きに基づく算出では、問17で「幼稚園」「保育園」の両方を選択した場合、幼稚園の利用意向として量の見込みが算出されるため、利用実態や確保方策と合わせて検討する必要がある。</p>						年度	H27	H28	H29	H30	H31	3～5歳推計児童数	人 8,271	8,277	8,173	8,151	8,057	量の見込み	人 2,959	2,961	2,924	2,916	2,882	量の見込み／推計児童数	% 35.8%																			
年度	H27	H28	H29	H30	H31																																								
3～5歳推計児童数	人 8,271	8,277	8,173	8,151	8,057																																								
量の見込み	人 2,959	2,961	2,924	2,916	2,882																																								
量の見込み／推計児童数	% 35.8%																																												

認定区分	3号認定																																																		
対象年齢	0歳児																																																		
対象施設	保育園 / 地域型保育 / 認定こども園																																																		
家庭類型	タイプA	ひとり親家庭																																																	
	タイプB	フルタイム × フルタイム																																																	
	タイプC	フルタイム × パートタイム(長時間)																																																	
	タイプE	パートタイム(長時間) × パートタイム(長時間)																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">母親</th> <th colspan="2">父親</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">父親</th> <th rowspan="2"></th> <th>1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</th> <th colspan="2">3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</th> <th rowspan="2">5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない</th> </tr> <tr> <th>120時間以上</th> <th>120時間未満 下限時間以上</th> <th>下限時間未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</td> <td></td> <td>タイプB</td> <td>タイプC</td> <td>タイプC'</td> <td rowspan="3">タイプD</td> </tr> <tr> <td>120時間以上</td> <td>タイプC</td> <td>タイプE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>120時間未満 下限時間以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</td> <td>下限時間未満</td> <td>タイプC'</td> <td colspan="2">タイプE'</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">タイプD</td> <td>タイプF</td> </tr> <tr> <td>5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない</td> <td></td> <td colspan="3">タイプD</td> <td>タイプF</td> </tr> </tbody> </table>							母親		父親		父親		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中		5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない	120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD	120時間以上	タイプC	タイプE		120時間未満 下限時間以上				3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	下限時間未満	タイプC'	タイプE'				タイプD			タイプF	5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD		
		母親		父親																																															
父親		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中		5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない																																														
		120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満																																															
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD																																														
	120時間以上	タイプC	タイプE																																																
	120時間未満 下限時間以上																																																		
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	下限時間未満	タイプC'	タイプE'																																																
		タイプD			タイプF																																														
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD			タイプF																																														
算出根拠	<p>国の「手引き」に基づき算出</p> <p>【利用意向】</p> <p>問17における教育・保育事業の今後の利用意向で、「保育園」「小規模保育」「認定こども園」「事業所内保育」「その他の保育施設」「家庭的保育」「居宅訪問型保育」のいずれかを選択した方の割合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> $\text{量の見込み(人)} = \text{家庭類型別児童数(人)} \times \text{利用意向率(\%)}$ </div>																																																		
量の見込み(暫定値)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳推計児童数</td> <td>人</td> <td>2,702</td> <td>2,671</td> <td>2,644</td> <td>2,629</td> <td>2,597</td> </tr> <tr> <td>量の見込み</td> <td>人</td> <td>1,066</td> <td>1,053</td> <td>1,043</td> <td>1,037</td> <td>1,024</td> </tr> <tr> <td>量の見込み／推計児童数</td> <td>%</td> <td>39.4%</td> <td>39.4%</td> <td>39.4%</td> <td>39.4%</td> <td>39.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 H24 実績 146人 H25 実績 131人</p> <p>【備考】</p> <p>低年齢児における利用意向は大きいものの、手引きに基づく算出では、問17で保育園等を選択した場合、すべて量の見込みとして算出されているため、他の設問における「子どもが1歳以上になったら」などの利用意向に照らして補正する必要がある。</p>						年度		H27	H28	H29	H30	H31	0歳推計児童数	人	2,702	2,671	2,644	2,629	2,597	量の見込み	人	1,066	1,053	1,043	1,037	1,024	量の見込み／推計児童数	%	39.4%	39.4%	39.4%	39.4%	39.4%																	
年度		H27	H28	H29	H30	H31																																													
0歳推計児童数	人	2,702	2,671	2,644	2,629	2,597																																													
量の見込み	人	1,066	1,053	1,043	1,037	1,024																																													
量の見込み／推計児童数	%	39.4%	39.4%	39.4%	39.4%	39.4%																																													

認定区分	3号認定																																																
対象年齢	1～2歳児																																																
対象施設	保育園 / 地域型保育 / 認定こども園																																																
家庭類型	タイプA	ひとり親家庭																																															
	タイプB	フルタイム × フルタイム																																															
	タイプC	フルタイム × パートタイム(長時間)																																															
	タイプE	パートタイム(長時間) × パートタイム(長時間)																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">母親</th> <th colspan="2">父親</th> <th rowspan="2">5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</th> <th>3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</th> <th>120時間以上</th> <th>120時間未満 下限時間以上</th> <th>下限時間未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中</td> <td></td> <td>タイプB</td> <td>タイプC</td> <td colspan="2">タイプC'</td> <td rowspan="3">タイプD</td> </tr> <tr> <td>120時間以上</td> <td>タイプC</td> <td>タイプE</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>120時間未満 下限時間以上</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">タイプE'</td> </tr> <tr> <td>3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中</td> <td>下限時間未満</td> <td>タイプC'</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない</td> <td colspan="3">タイプD</td> <td colspan="2">タイプF</td> </tr> </tbody> </table>							母親		父親		5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない			1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'		タイプD	120時間以上	タイプC	タイプE			120時間未満 下限時間以上			タイプE'		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	下限時間未満	タイプC'				5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD			タイプF
		母親		父親		5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない																																											
		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	120時間未満 下限時間以上		下限時間未満																																										
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'		タイプD																																											
	120時間以上	タイプC	タイプE																																														
	120時間未満 下限時間以上			タイプE'																																													
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	下限時間未満	タイプC'																																															
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		タイプD			タイプF																																												
算出根拠	<p>国の「手引き」に基づき算出</p> <p>【利用意向】</p> <p>問17における教育・保育事業の今後の利用意向で、「保育園」「小規模保育」「認定こども園」「事業所内保育」「その他の保育施設」「家庭的保育」「居宅訪問型保育」のいずれかを選択した方の割合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> $\text{量の見込み(人)} = \text{家庭類型別児童数(人)} \times \text{利用意向率(\%)}$ </div>																																																
量の見込み (暫定値)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～2歳推計児童数</td> <td>人</td> <td>5,522</td> <td>5,457</td> <td>5,405</td> <td>5,346</td> <td>5,302</td> </tr> <tr> <td>量の見込み</td> <td>人</td> <td>2,434</td> <td>2,405</td> <td>2,382</td> <td>2,356</td> <td>2,337</td> </tr> <tr> <td>量の見込み／推計児童数</td> <td>%</td> <td>44.1%</td> <td>44.1%</td> <td>44.1%</td> <td>44.1%</td> <td>44.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 H24 実績 1,369 人 H25 実績 1,493 人</p> <p>【備考】</p> <p>低年齢児における利用意向は大きいものの、手引きに基づく算出では、問17で保育園等を選択した場合、すべて量の見込みとして算出されているため、他の設問における「子どもが3歳以上になったら」などの利用意向に照らして補正する必要がある。</p>						年度	H27	H28	H29	H30	H31	1～2歳推計児童数	人	5,522	5,457	5,405	5,346	5,302	量の見込み	人	2,434	2,405	2,382	2,356	2,337	量の見込み／推計児童数	%	44.1%	44.1%	44.1%	44.1%	44.1%																
年度	H27	H28	H29	H30	H31																																												
1～2歳推計児童数	人	5,522	5,457	5,405	5,346	5,302																																											
量の見込み	人	2,434	2,405	2,382	2,356	2,337																																											
量の見込み／推計児童数	%	44.1%	44.1%	44.1%	44.1%	44.1%																																											

2-2. 量の見込みの算出結果（地域子ども・子育て支援事業）

① 時間外保育事業（延長保育事業）

事業の概要	11時間の開所時間を超えて保育を行う事業						
対象年齢	0～5歳児						
対象家庭類型	タイプA	ひとり親家庭					
	タイプB	フルタイム × フルタイム					
	タイプC	フルタイム × パートタイム(長時間)					
	タイプE	パートタイム(長時間) × パートタイム(長時間)					
算出の根拠 及び方法	国の「手引き」に基づき算出						
	【利用意向】 2号認定(保育利用)又は3号認定に該当し、かつ問16-②で利用意向時間を18時以降までと回答している方の割合 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 量の見込み(人) = 家庭類型別児童数(人) × 利用意向率(%) </div>						
量の見込み (暫定値)	年度	H27	H28	H29	H30	H31	
	0～5歳推計児童数	人	16,495	16,405	16,222	16,126	15,956
	量の見込み	人	1,082	1,076	1,064	1,057	1,046
	量の見込み/推計児童数	%	6.6%	6.6%	6.6%	6.6%	6.6%
	【参考】 H24実績:月延べ191人(年間延べ2,286人) H25実績:月延べ194人(年間延べ2,329人)						
【備考】 手引きに基づく算出では、現状の利用実績と乖離が大きいため、利用実態や確保方策と合わせて検討する必要がある。							

② 放課後児童健全育成事業（学童保育所）

事業の概要	保護者の就労等により、昼間、留守家庭の小学校児童が放課後や夏休みなどに学童保育所に通所し、適切な遊びや指導員による健康管理、安全確保、情緒の安定など、家庭の保護機能の補完的役割を果たす生活の場として保育を行う						
対象年齢	小学生						
対象家庭類型	タイプA	ひとり親家庭					
	タイプB	フルタイム × フルタイム					
	タイプC	フルタイム × パートタイム(長時間)					
	タイプE	パートタイム(長時間) × パートタイム(長時間)					
算出の根拠及び方法	任意に実施した小学校児童用調査結果の数値で算出 【利用意向】 問 20 における学童保育所の利用意向で、「利用したい」を選択した方の割合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\text{量の見込み(人)} = \text{家庭類型別児童数(人)} \times \text{利用意向率(\%)}$ </div>						
量の見込み(暫定値)	<低学年>						
		年度	H27	H28	H29	H30	H31
	低学年推計児童数	人	8,465	8,241	8,289	8,201	8,205
	量の見込み	人	1,436	1,402	1,417	1,391	1,398
	量の見込み/推計児童数	%	17.0%				
	<高学年>						
		年度	H27	H28	H29	H30	H31
	高学年推計児童数	人	8,550	8,527	8,369	8,406	8,184
	量の見込み	人	599	604	593	590	579
	量の見込み/推計児童数	%	7.0%				
【参考】							
* 現行は、主に小学校3年生まで。							
*()内の内訳は、各年3月時の児童数で按分した年間実績人数 H24 実績:年間 1,249 人 (低学年 1,050 人 高学年 199 人) H25 実績:年間 1,382 人 (低学年 1,144 人 高学年 238 人)							

③ 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

事業の概要	保護者の疾病等の事情により、養育が一時的に困難となった場合や緊急一時的に保護を必要とする場合に、子どもを一時的に養育又は保護する																	
対象年齢	0～5歳児																	
対象家庭類型	すべての家庭類型																	
算出の根拠及び方法	<p>国の「手引き」に基づき算出</p> <p>利用意向＝利用意向率×利用意向日数</p> <p><利用意向率></p> <p>問 24-①における泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったときの対処方法で、「ショートステイを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選択した方の割合</p> <p><利用意向日数></p> <p>上記を選択した方のこの1年間の平均日数</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>量の見込み(人日／年)＝家庭類型別児童数(人)×利用意向</p> </div>																	
量の見込み(暫定値)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #333; color: white;"> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 12.5%;">H27</th> <th style="width: 12.5%;">H28</th> <th style="width: 12.5%;">H29</th> <th style="width: 12.5%;">H30</th> <th style="width: 12.5%;">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量の見込み(人日／年)</td> <td>2,736</td> <td>2,721</td> <td>2,690</td> <td>2,674</td> <td>2,646</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 H24 実績:年間延べ 52 人(1人平均 5 日利用) H25 実績:年間延べ 141 人(1人平均 5 日利用)</p> <p>【備考】 泊りがけの預け先として「ショートステイを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した数が過少となっており、手引きに基づく算出では適切な見込み量を算出できないため、利用実績と施設の状況を勘案して独自に算出する必要がある。</p>						年度	H27	H28	H29	H30	H31	量の見込み(人日／年)	2,736	2,721	2,690	2,674	2,646
年度	H27	H28	H29	H30	H31													
量の見込み(人日／年)	2,736	2,721	2,690	2,674	2,646													

④ 地域子育て支援拠点事業

事業の概要	乳幼児とその保護者が相互に交流を行う場所を開設し、育児負担の軽減と育児不安の解消を目的として、子育てについての相談や情報の提供その他の支援を行う																	
対象年齢	主に0～3歳児																	
対象家庭類型	すべての家庭類型																	
算出の根拠 及び方法	<p>国の「手引き」に基づき算出</p> <p>利用意向＝利用意向率×利用意向回数</p> <p>*量の見込みは0～2歳児が対象</p> <p><利用意向率></p> <p>問 26 及び 27 で子育て支援センターを「利用している」及び「利用していないが、今後利用したい」を選択した方の割合</p> <p><利用意向回数></p> <p>利用意向のある方の月当たりの平均利用意向回数</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>量の見込み(人回/月) = 家庭類型別児童数(人) × 利用意向</p> </div>																	
量の見込み (暫定値)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #333; color: white;"> <th style="padding: 5px;">年度</th> <th style="padding: 5px;">H27</th> <th style="padding: 5px;">H28</th> <th style="padding: 5px;">H29</th> <th style="padding: 5px;">H30</th> <th style="padding: 5px;">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">量の見込み(人回/月)</td> <td style="padding: 5px;">16,057</td> <td style="padding: 5px;">15,869</td> <td style="padding: 5px;">15,715</td> <td style="padding: 5px;">15,571</td> <td style="padding: 5px;">15,422</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 H24 実績: 月延べ 4,040 人 H25 実績: 月延べ 3,996 人</p> <p>【備考】 手引きに基づく算出では、現状の利用実績と乖離が大きくなっているが、保育園等の利用者や利用意向者の利用希望もそのまま量の見込みの算出に反映されているため、利用実態や確保方策と合わせて補正する必要がある。</p>						年度	H27	H28	H29	H30	H31	量の見込み(人回/月)	16,057	15,869	15,715	15,571	15,422
年度	H27	H28	H29	H30	H31													
量の見込み(人回/月)	16,057	15,869	15,715	15,571	15,422													

⑤-1 一時預かり事業（幼稚園における在園児を対象とした預かり保育）

事業の概要	幼稚園在園児の保護者の就労時間等の都合による降園時間後の預かり保育					
対象年齢	3～5歳児					
対象家庭類型	タイプC'	フルタイム × パートタイム(短時間)				
	タイプD	専業主婦(夫)				
	タイプE'	パートタイム × パートタイム *いずれかが短時間				
	タイプF	無業 × 無業				
算出の根拠 及び方法	国の「手引き」に基づき算出					
	<p>利用意向＝利用意向率×利用意向日数</p> <p>【1号認定】該当者による利用</p> <p><利用意向率(ア×イ)></p> <p>ア～ 問 17 で「幼稚園」「認定こども園」を選択し、かつ、問 23 における不定期の一時預かりの利用意向で「利用したい」を選択した方の割合</p> <p>イ～ 問 16-①で「幼稚園」を選択し、かつ、問 22 で不定期の一時預かり事業を選択した方のうち、「一時保育」「幼稚園の預かり保育」を選択した方の割合</p> <p><利用意向日数></p> <p>利用意向のある方の年間の平均利用日数</p> <p>【2号認定】該当者による利用</p> <p><利用意向率> 100%とする</p> <p><利用意向日数></p> <p>2号認定で幼稚園の利用意向がある方の年間就労日数 (問 11 における 1 週あたりの就労日数×52 週)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>量の見込み(人日/年) = 家庭類型別児童数(人) × 利用意向</p> </div>					
量の見込み (暫定値)	「1号認定」による利用					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み(人日/年)	6,520	6,524	6,442	6,425	6,351
	「2号認定」による利用					
	年度	H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み(人日/年)	345,037	345,287	340,949	340,031	336,110
	<p>【参考】 *預かり保育の全体実績</p> <p>H24 実績:年間延べ約 40,000 人(暫定)</p> <p>【備考】</p> <p>手引きに基づく算出では、2号認定(両親共稼ぎで幼稚園を希望)の子どもが毎日通年で利用するという前提で量の見込みの算出に反映され、現状の利用実績と乖離が大きくなってしまったため、利用実態や確保方策と合わせて補正する必要がある。</p> <p>* 幼稚園の意向によっては、一時預かり事業ではなく、従来の私学助成による預かり保育や、認定こども園になる場合は2号認定(保育)の給付も考えられる。</p>					

⑤-2 一時預かり事業（幼稚園における預かり保育以外の一時預かり）

事業の概要	家庭で保育されている子どもの一時的な保育					
対象年齢	0～5歳児					
対象家庭類型	すべての家庭類型					
算出の根拠及び方法	<p>国の「手引き」に基づき算出</p> <p>利用意向＝利用意向率×利用意向日数</p> <p><利用意向率> 問 23 における不定期の一時預かりの利用意向で、「利用したい」を選択した方の割合</p> <p><利用意向日数> 利用意向のある方の年間の平均利用意向日数</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> $\text{量の見込み(人日/年)} = \text{家庭類型別児童数(人)} \times \text{利用意向}$ </div>					
量の見込み（暫定値）	年度	H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み(人日/年)	165,372	164,429	162,603	161,619	159,920
	<p>【参考】</p> <p>*保育園における一時保育の実績 H24 実績:年間延べ 5,382 人 H25 実績:年間延べ 5,132 人</p> <p>*ファミリー・サポート・センターによる就学前児童の預かり実績 H24 実績:年間延べ 1,397 人 H25 実績:年間延べ 1,348 人</p> <p>【備考】</p> <p>手引きに基づく算出では、現状の利用実績と乖離が大きくなっているが、保育園等の利用者や利用意向者の利用希望もそのまま反映されているため、利用実態や確保方策と合わせて補正する必要がある。</p>					

⑥ 病児・病後児保育事業

事業の概要	保護者の就労等の都合により、保育園や幼稚園、小学校に通っている児童が病気または病気の回復期にあるが、まだ集団生活に不安がある間、一時的に児童の保育を行う																	
対象年齢	保育園、幼稚園、小学校に通園・通学する児童																	
対象家庭類型	タイプA	ひとり親家庭																
	タイプB	フルタイム × フルタイム																
	タイプC	フルタイム × パートタイム(長時間)																
	タイプE	パートタイム(長時間) × パートタイム(長時間)																
算出の根拠及び方法	<p>国の「手引き」に基づき算出</p> <p>利用意向＝利用意向率×利用意向日数</p> <p><利用意向率> 問 21-①で子どもの病気の際の対応として「父親が休んだ」「母親が休んだ」を選択した方のうち、問 21-②で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方と、問 21-①で「病児・病後児保育を利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選択した方の割合</p> <p><利用意向日数> 利用意向のある方の年間の平均意向日数</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> $\text{量の見込み(人日/年)} = \text{家庭類型別児童数(人)} \times \text{利用意向}$ </div>																	
量の見込み(暫定値)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #333; color: white;"> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量の見込み(人日/年)</td> <td>16,139</td> <td>16,051</td> <td>15,872</td> <td>15,778</td> <td>15,612</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 H24 実績:年間延べ 1,412 人(平均利用回数 4.0 日) H25 実績:年間延べ 1,650 人(平均利用回数 4.1 日)</p> <p>【備考】 手引きに基づく算出では、現状の利用実績と乖離が大きいため、手引きに基づき算出された平均意向日数と利用の実態や、現状での施設設置状況と確保方策に合わせて検討する必要がある。</p>						年度	H27	H28	H29	H30	H31	量の見込み(人日/年)	16,139	16,051	15,872	15,778	15,612
年度	H27	H28	H29	H30	H31													
量の見込み(人日/年)	16,139	16,051	15,872	15,778	15,612													

⑦ 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業〔就学児〕）

事業の概要	育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児の援助を行いたい人(援助会員)が会員として登録し、相互の信頼と了解のもとに育児の援助を行う																								
対象年齢	小学校児童 *ファミリー・サポート・センター事業の就学前児童は⑤-2 一時預かり事業に含む																								
対象家庭類型	すべての家庭類型																								
算出の根拠及び方法	<p>国の「手引き」に準じて算出 *任意に実施した小学校児童用調査結果を利用</p> <p>利用意向＝利用意向率×利用意向日数</p> <p><利用意向率> 問 19 で放課後の時間を過ごさせたい場所として「ファミリー・サポート・センター」を選択した方の割合</p> <p><利用意向日数> 利用意向のある方の年間の平均利用意向日数</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>量の見込み(人日/年) = 家庭類型別児童数(人) × 利用意向</p> </div>																								
量の見込み(暫定値)	<p><低学年></p> <table border="1" data-bbox="405 913 1420 1012"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量の見込み(人日/年)</td> <td>67</td> <td>65</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p><高学年></p> <table border="1" data-bbox="405 1068 1420 1167"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量の見込み(人日/年)</td> <td>68</td> <td>67</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 H24 実績:年間延べ 1,780 人 H25 実績:年間延べ 1,648 人</p> <p>【備考】 放課後の時間を過ごさせたい場所として「ファミリー・サポート・センター」を選択した数が過少であったこと、また本市のファミリー・サポート・センター事業の内容・利用実態と、設問で伺っている「放課後の時間を過ごす場所」とのミスマッチにより、手引きに基づく算出では適切な見込み量を算出できないため、利用実績と利用実態を勘案し独自に算出する必要がある。</p>	年度	H27	H28	H29	H30	H31	量の見込み(人日/年)	67	65	66	65	65	年度	H27	H28	H29	H30	H31	量の見込み(人日/年)	68	67	66	66	65
年度	H27	H28	H29	H30	H31																				
量の見込み(人日/年)	67	65	66	65	65																				
年度	H27	H28	H29	H30	H31																				
量の見込み(人日/年)	68	67	66	66	65																				

⑧ 利用者支援事業

事業の概要	新制度で新たに創設された事業で、子ども及びその保護者等がその選択に基づき、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報提供や相談、助言等を行う																	
対象年齢	0～5歳児																	
対象家庭類型	すべての家庭類型																	
算出の根拠及び方法	<p>独自に算出 *国の「手引き」で標準算出方法の記載なし</p> <p>問16で現在、幼稚園や保育園を「利用していない」を選択した方で、かつ問30で市に期待する施策のうち、子育てに関する「情報提供」「相談」の充実を選択した方の割合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $\text{量の見込み(人)} = \text{家庭類型別児童数(人)} \times \text{利用意向率(\%)}$ </div>																	
量の見込み(暫定値)	<table border="1" data-bbox="406 795 1414 891"> <thead> <tr> <th style="background-color: #333; color: white;">年度</th> <th style="background-color: #333; color: white;">H27</th> <th style="background-color: #333; color: white;">H28</th> <th style="background-color: #333; color: white;">H29</th> <th style="background-color: #333; color: white;">H30</th> <th style="background-color: #333; color: white;">H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>量の見込み(人)</td> <td>3,918</td> <td>3,897</td> <td>3,854</td> <td>3,831</td> <td>3,790</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】 *H24年度子育て支援センターにおける個別相談件数は、入園関係 508 件などを含めて 2,245 件と、電話・保健師等相談が 554 件あり、全体で約 2,800 件となっている。</p> <p>【備考】 新制度で新たに創設された事業であるため、現在実施している相談窓口との連携や実施場所、実施方法など、事業の実施に向けた確保方策に合わせて、再度精査し検討する。</p>						年度	H27	H28	H29	H30	H31	量の見込み(人)	3,918	3,897	3,854	3,831	3,790
年度	H27	H28	H29	H30	H31													
量の見込み(人)	3,918	3,897	3,854	3,831	3,790													

⑨ 妊婦健康診査

事業の概要	一般健康診査を医療機関に委託して行い、妊婦が希望する医療機関を選択して受診する事業					
対象者	全ての妊婦					
算出の根拠及び方法	独自に算出 *国の「手引き」で標準算出方法の記載なし ① 過去の出生届出数の変化率から将来の出生届出数を推計する。 ② 推計した出生届出数に過去3カ年の平均健診回数を乗じて算出する。 $\text{量の見込み(回数/年)} = \text{推計出生届出数(人)} \times \text{平均健診回数}$					
量の見込み(暫定値)	年度	H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み(回数/年)	30,618	30,164	29,716	29,275	28,840

⑩ 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）

事業の概要	おおむね生後4か月に達するまでの乳児がいる家庭を保健師・助産師・看護師及び赤ちゃん訪問員が対象者の自宅に訪問する事業					
対象者	生後4か月までの赤ちゃんのいる全ての家庭					
算出の根拠及び方法	独自に算出 *国の「手引き」で標準算出方法の記載なし ① 過去の出生届出数の変化率から将来の出生届出数を推計する。 ② 推計した出生届出数に過去3カ年の平均訪問実績率を乗じて算出する。 $\text{量の見込み(件/年)} = \text{推計出生届出数(人)} \times \text{平均訪問実績(\%)}$					
量の見込み(暫定値)	年度	H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み(件/年)	2,585	2,547	2,509	2,472	2,435

⑪ 養育支援訪問事業

事業の概要	養育支援が特に必要な家庭を保健師や支援員が訪問して、養育に関する指導、助言、育児援助等による支援を行い、適切な養育の実施を確保するための事業					
対象者	養育支援が特に必要な家庭					
算出の根拠及び方法	独自に算出 *国の「手引き」で標準算出方法の記載なし ① 専門的相談支援・・・過去実績より年10件の見込み(16週/件で訪問実施) ② 育児・家事援助・・・H26年度から専任の支援員を1人配置し、短期集中支援として年10件(12週/件で訪問実施)、及び中期支援として年5件(52週/件で訪問実施)を見込む					
量の見込み(暫定値)	年度	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	訪問家庭数	25	25	25	25	25
	訪問延べ件数	660	660	660	660	660